

**地域行事** **バター餅の味や出来栄を競い合う**  
第7回「BM-1グランプリ」～ふるさと自慢～

森吉山麗村興し会（池田文明会長）主催の「第7回BM-1グランプリ」が、4月27日にクウインス森吉で行われ、11個人・団体から25品が出品されました。審査では、来場者が審査員となり、バター餅の『風味』や『食感』を確かめながら試食し、様々な工夫を凝らしたバター餅の出来栄を楽しんでいました。審査の結果、伝統的なバター餅の製法を基本とする「クラシカル部門」では五味堀餅搗き踊り保存会が、他の食材を加えてアレンジした「アレンジ部門」では惣内婦人部がグランプリに輝きました。



**安全祈願** **登山者の安全を祈願**  
森吉山山開き

登山シーズンの幕開けを告げる森吉山の山開きが5月3日に行われ、市や山岳会関係者、県内外の登山愛好者が参加しました。この日は雨と風の悪天候のため、予定していた森吉神社での神事を妖精の森内のロッジに変更して行われ、参加者が玉串を奉てんし、今年一年の無事故と安全を祈願しました。神事後、主催者を代表して森吉山岳会の森川鉄雄会長が「登山者には体力と天候に気を付けて、安全な登山をしてほしい」などとあいさつしました。



**地域行事** **市民の憩いの場を桜の名所に**  
森吉四季美湖桜を見る会

森吉四季美湖を守る会（佐藤慶博会長）主催の森吉四季美湖桜を見る会が、5月13日に四季美湖周辺で行われ、地域住民や会員約50人が参加し、植樹から7年経ったヤマザクラを觀賞しました。森吉四季美湖を守る会は「ダム湖周辺を人々が集う憩いの場に」とダム完成直後から植樹や環境美化活動をしており、花を咲かせるヤマザクラが増えたことから、今回初めて桜を見る会が行われました。会員らは、これまでの活動を振り返り、今後ヤマザクラでいっぱいの湖畔になることを期待しました。

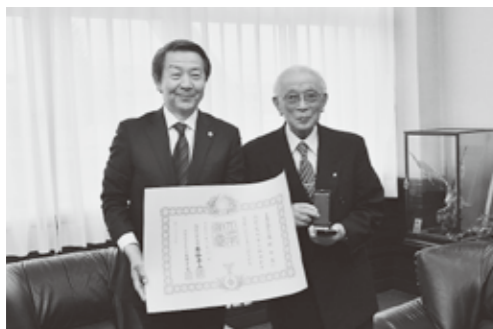


市内のいろいろな出来事を紹介します



**叙勲伝達** **地方自治の発展に尽力**  
高齢者叙勲伝達式

元阿仁町助役の高堰信男さん（88歳・比立内）が、このほど高齢者叙勲の瑞宝双光章を受章し、4月18日に市役所で伝達式が行われました。高堰さんは、昭和28年6月に大阿仁村職員として採用されてから約36年間務めた後、平成元年から14年までの約13年間にわたり、阿仁町助役として、町政の発展と振興に尽力されました。高堰さんは「受章は地域の皆さんのご支援やご指導のおかげ。心から感謝している」などと感謝の気持ちを表しました。



**公開開始** **伊勢堂岱遺跡に春到来**  
伊勢堂岱遺跡一般公開開始

熊の出没等により、昨年7月から閉鎖していた国指定史跡「伊勢堂岱遺跡」の一般公開が、4月21日から始まり、県内外から多くの見学者が訪れました。この日の公開にあたり佐藤教育長は「専門家や有識者の方々と検討し、安全に見学できる環境が整った。多くの人に遺跡を見てもらい、世界文化遺産登録の国内推薦に向けた弾みにつなげたい」などと述べました。来場者は、伊勢堂岱ワーキンググループ会員のガイドで環状列石や遺跡の風景を見学しました。



**植樹事業** **豊かな森づくりの第一歩**  
北秋田市民の森づくり植樹事業

秋田県信用組合（北林貞男理事長）主催の北秋田市民の森づくり植樹事業が、5月12日に四季美湖周辺で行われ、市民ら約180人が参加しました。この植樹事業は、北秋田市と秋田県信用組合が締結した「地方創生包括連携協定」の趣旨のもと、地域社会の維持・発展に向け相互協力するとしており、植樹活動はその一環として実施しているものです。参加者は、額に汗を浮かべながら約1mほどに育ったヤマザクラ等約270本の苗木を植えて、将来にわたり、緑豊かな地域が続くことを願いました。



**受賞報告** **地域スポーツの普及・振興に貢献**  
ミズノスポーツメントール賞受賞報告

2017年度ミズノスポーツメントール賞を受賞した奈良正人さん（70歳・住吉町）が、5月14日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。この度の受賞は、長年にわたるスキーレーシングの指導やスポーツドクター活動など、地域スポーツの普及・振興に貢献したことが認められたものです。奈良さんは「選手以外の指導者等の裏方に目を向けてもらい、ありがたい」などと喜びを語りました。津谷市長は「長年の活動の功績が認められた証であり、誇りに思う」などと受賞をたたえました。

